

みずほCustomer Desk Report 2016/05/24号(As of 2016/05/23)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	109.81
TKY 9:00AM	110.03	1.1221	123.48	0.9912	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	110.24	1.1243	123.60	0.9923	1.4550	0.7260
SYD-NY Low	109.12	1.1188	122.40	0.9883	1.4443	0.7194
NY 5:00 PM	109.24	1.1220	122.58	0.9896	1.4485	0.7224
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.955/11.455		△25RR	0.415	Yen Call Over	
NY DOW	17,492.93	▲ 8.01	債券市場			
NASDAQ	4,765.78	▲ 3.78	日本2年債	-0.2330	1.1bp	
S&P	2,048.04	▲ 4.28	日本10年債	-0.0940	1.9bp	
日経平均	16,654.60	▲ 81.75	米国2年債	0.8969	2.1bp	
TOPIX	1,338.68	▲ 4.72	米国5年債	1.3684	0.7bp	
シカゴ日経先物	16,535	▲205.00	米国10年債	1.8350	▲0.3bp	
ロンドンFT	6,136.43	▲19.89	独10年債	0.1760	1.1bp	
DAX	9,842.29	▲73.73	英10年債	1.4490	▲0.3bp	
ハンセン指数	19,809.03	▲43.17	豪10年債	2.2880	▲1.5bp	
上海総合	2,843.65	18.16	為替市況			
USDJPY 3M Vol	10.66	▲0.09%	USD/CNH	6.5618	▲0.0027	
USDJPY 6M Vol	10.67	▲0.09%	ドルインデックス	95.23	▲0.10	
EURJPY 3M Vol	11.11	▲0.26%	商品市況			
EURJPY 6M Vol	10.93	▲0.24%	CRB指数	183.195	▲1.01	
			NY金	1,251.500	▲1.40	
			WTI	48.080	▲0.33	
			Dubai Spot	45.15	▲0.54	

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月23日	8:50	日 貿易収支	4月 ¥823.5B	¥540.0B
	16:30	独 マークイット製造業/サービス業PMI(速報値)	5月 52.4/55.2	52.0/54.6
	17:00	欧 マークイット製造業/サービス業PMI(速報値)	5月 51.5/53.1	51.9/53.2
	19:15	米 ブラード・セントルイス連銀総裁講演	-	-
	21:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-
	22:45	米 マークイット製造業PMI(速報値)	5月 50.5	51.0
	23:00	欧 消費者信頼感指数(速報値)	5月 -7.0	-9.0

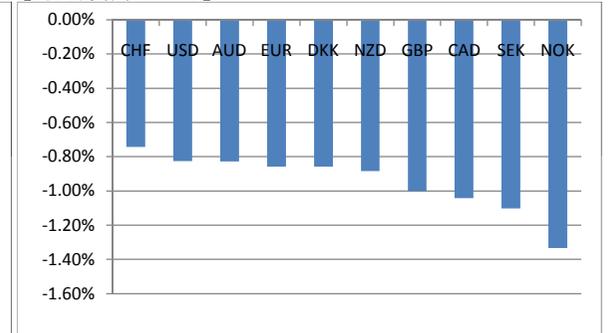
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月24日	7:30	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-
	12:05	豪 スティーブンスRBA総裁講演	-	-
	15:00	独 GDP(季調済/前期比)・権確値	1Q 0.7%	0.7%
	16:00	欧 プラートECB理事講演	-	-
	18:00	独 ZEW現況/期待指数	5月 49.0/12.0	47.7/11.2
	23:00	米 新築住宅販売件数	4月 523K	511K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.70-109.70	1.1150-1.1250	122.00-123.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外市場のドル円はアジア時間からの上値の重い相場展開を引き継ぎ、じりじりとレンジを切り下げる展開となった。3か月連続の黒字で市場予想を上回った本邦貿易収支や先週末のG7財務相・中銀総裁会議後の本邦為替介入に釘を刺されたことなどが意識されながら、ドル円は先週末までの底堅さに陰りを見せ始めると110円台を維持できず109円台へ軟化。テクニカル的にも足チャート・一目均衡表上の雲下限あたりがレジスタンスとなり上値の重い値動きに終始。原油安や欧州株安なども嫌気されウィリアムズ・SF連銀総裁の年2、3回利上げを支持する発言を受けて米金利が上昇する場面でもドル円の反応は鈍く、109円台前半レンジを切り下げた。本日のドル円は昨日の流れを引き継ぎ上値の重い値動きに終始するとみられる。昨日は原油価格下落や欧州株安を嫌気したリスクオフの流れが垣間見られ、本日の日経平均も軟調な場面がありそうで、ドル円相場を下押しする可能性には留意が必要。ただし、伊勢志摩サミットなどのイベントを控え様子見モードから下値余地は限定的か。本日は米国から新築住宅販売件数などの指標が発表される予定。

東京	週末に行なわれたG7財務相・中央銀行総裁会議では特段目新しい内容は見られず、先週金曜日のクロスレールとほぼ同水準でシドニー時間オープン。その後、一時高値110.24を付ける場面が見られるも、東京時間オープン前に発表された本邦4月貿易収支が8,235億円の黒字(予想5,400億円の黒字)と、市場予想比黒字額が大きくなったことを受けて、円買い優勢の展開。かかる中、東京時間のドル円は110.03レベルでオープン。寄り付き後、日経平均株価が下落する動きに伴い、ドル円も連日安の展開となると、一時109.64まで下落。その後、中曽日銀副総裁より「マイナス金利の経済への影響を注視」などの発言が伝わるも、マーケットの反応は極めて限定的。午後に入り、日経平均株価が下げ幅を縮小する動きを受けて、ドル円も109.90近辺まで反発する場面が見られたものの、依然として110円近辺での売り意欲は相応に強く、110円台回復に失敗すると押し戻される格好で109.70近辺まで再度下落した。結局109.77レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は終始上値の重い展開となった。朝方は109.77レベルでオープン。欧州株が前日比マイナス圏で取引開始し、クロス円が下落するとドル円もつれ安となった。アジア時間の下落を割るとストップなども巻き込み、109円台半ばまで下落。ギリシャの次回救済金の支払いが合意されたとの報道が流れると欧州株が一時回復し、欧州コア国金利も上昇。これを受け、一部クロス円は一時的に反発したがドル円は戻りが弱く109円台半ばにとどまり、109.48レベルでNYへ渡った。ユーロも終始軟調な推移となった。朝方は1.1232レベルでオープン。序盤の欧州株の弱さ、および5月ユーロ圏PMIの弱さを受け、1.12台前半まで下落した後は横這いとなり、1.1211レベルでNYへ渡った。(ロンドン15:30)
ニューヨーク	週明けNYのドル円相場は109.48レベルでオープン。日本の4月貿易収支が予想以上の黒字だったことや、原油安と欧州株安がリスク回避の円買い圧力となり、ドル円は109.34付近まで値を下げた。ただ、米債利回りは先週末からの低下を帳消しにする方向に動き、ドル買い圧力も見られたことで、ドル円は円買いとドル買いに挟まれた格好となった。午後に入り、全体的に様子見ムードが強く薄商いの中、原油や米債利回りが下げに転じたことで短期筋の利益確定売りも出た模様で、ドル円は一時109.12まで下落した。その後は、原油、株価を睨んだリスク動向と米早朝利上げを睨んだ米債動向を双方を見比べながらの取引で、ドル円は109円台前半で膠着し、109.24レベルで海外市場へ渡った。一方、ユーロは1.1211レベルでNYオープン。米10年債利回りが上昇するなどドル買いの流れが継続し、ユーロは1.12台を割込み一時1.1188まで下落した。午後に入り、特に材料は見当たらなかったがドル売り優勢となると、ユーロは一時1.1231まで反発し、その後はやや値を下げ1.1220レベルで海外市場へ渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。